

市町村立図書館等活動支援誌



あけほのぶんくん

No.47

2014年3月14日発行

主な内容

- 市町村活動支援事業から〈平成25年度実績特集 1〉
子ども読書活動支援

北海道立図書館

〔目 次〕

■ 市町村活動支援事業から〈平成25年度実績特集 1〉	2
子ども読書活動支援	
1 子ども読書相談	
2 学校ブックフェスティバル	
3 学校図書館環境改善	
4 学校図書館サポートブックス	
5 子どもイベントサポートブックス	
■ 平成26年度市町村活動支援事業について	7

■市町村活動支援事業から <平成 25 年度実績特集 1>

1 子ども読書相談（5 町村）

管内	市町村名	内 容
石狩	当別町	読み聞かせボランティアの育成について、閉架資料の選定と除架について
後志	寿都町	本の選び方、読み聞かせについて
	真狩村	「第 3 期真狩村子どもたちの読書活動推進計画」策定に向けた勉強会
檜山	厚沢部町	学校図書室の環境や資料の整備について、教科学習における学校図書館の活用について
林-ㇿ	大空町	学校との連携について

● 真狩村

真狩村では、「第 2 期真狩村子ども読書活動推進計画」が平成 26 年度末で終了するため、年度の初めから「真狩村子どもたちの読書活動推進委員会」において、第 3 期計画の策定が始まります。

その準備のため、真狩村子どもたちの読書活動推進委員等研修会が開催されました。委員会の構成メンバーが、5 年前の現計画策定時から大きく入れ替わっているため、策定作業にとりかかる前に、子ども読書活動推進計画の必要性などを確認することが、この研修会の目的です。

「子ども読書相談」は、この研修会に合わせて行ったもので、子ども読書活動推進計画に関する基本的な事項について説明しました。

研修会は次のように進められました。

- ①「子ども読書活動推進計画について」
（道立図書館）
- ②「ニセコ町の計画策定について」
（ニセコ町教育委員会）
- ③グループワーク



②の「ニセコ町の計画策定について」では、平成 25 年 3 月に策定したニセコ町における策定状況などについて説明がありました。課題の洗い出しのためにラベルワークを多用して話しあったり、策定委員会の会議の会場を町内の学校として、順に会場を回すといった工夫をしたことなど、参考になる取組が紹介されました。

③のグループワークでは、数名ずつのグループに分かれ、子ども読書活動の課題について話し合い、メンバーが一番「そうだよね」と思った事例について発表を行いました。

真狩村子どもたちの読書活動推進委員会は、策定後も、独自事業の実施、委員会内にグループをつくってのボランティア活動、教育委員会の諸事業への協力など、日常的に子ども読書活動の推進に努めてきました。このような取組をとおして、関係団体等との連携も進み、子ども読書活動のすそ野が広がっているようです。

また、この研修会は、後志管内の市町村にも声をかけて行われ、4 町村から参加がありました。

2 学校ブックフェスティバル（29市町村 43小学校 5中学校 1高等学校）

管内	実施数	管内	実施数
空知	4市（3小学校1中学校）	石狩	1村（1小学校）
後志	5市町村（6小学校2中学校）	胆振	2町（3小学校）
日高	—	渡島	3町（6小学校1中学校）
檜山	1町（1小学校）	上川	7市町（14小学校）
留萌	2町（4小学校1高等学校）	宗谷	1町（2小学校）
林-ツ	—	十勝	1町（1小学校）
釧路	1町（1小学校）	根室	1市（1小学校1中学校）

● 新篠津村（11月20日）

実施校：新篠津村立新篠津小学校（児童数 160名）

9時から会場の準備を行い、10時30分から12時までブックフェスティバルを実施しました。

開会式のあと、ボランティアサークル「ぼこ・あ・ぼこ」による読み聞かせが行われました。低、中、高学年に分かれて体育館の隅に集まり、サークルのメンバーから3～4冊の絵本を読んでもらいました。

当館職員によるブックトークも実施し、算数の本など、10冊ほどを紹介しました。

また、サプライズゲストとして、北海道「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」が登場し、ブックトークや本選びを大いに盛り上げてくれました。

本選びでは、床に広げた約1,600冊の本から、読みたい本を探しました。ブックトークで紹介した本も一緒に広げましたが、いずれもすぐに借りてくれました。

このほか、しかけ絵本やおはなし迷路も展示し、子どもたちは、普段読むものとは少し違う本をととても楽しんでいました。

このフェスティバルでの貸出冊数は744冊と、多くの子どもたちが貸出上限である5冊の本を借りました。



● 島牧村（11月9日）

実施校：島牧村立島牧小学校（児童数 62人）

前日の夕方、1時間程度、島牧小学校で打ち合わせを行い、本の並べ方や貸出手順について確認しました。打ち合わせの中では、「読書の木」や「シャッフル読み聞かせ」（担任以外の先生が教室に行き、読み聞かせをする事業）等、校内で活発に行われている読書活動についてもお話を聞くことができました。

当日は、8時から、教育委員会職員や先生方と一緒に、体育館にござるを広げて800冊の本を並べるなどの準備をしました。

ブックフェスティバルは9時に開始し、おはなし会や本の借り方の説明の後、10時25分まで、床に広げた本を自由に選んだり、しかけ絵本等を楽しみました。

島牧小学校は、貸出冊数を1人10冊までとし、自宅に持ち帰らず、学級文庫として利用することにしま

した。子どもたちが借りた本は、合計440冊にもなりました。

終わりの会では、司会の先生から感想を求められると、多数の子どもたちが手をあげ、選ばれた6人が「いろいろな本が読めて楽しかった」などと感想を発表していました。



3 学校図書館環境改善（28市町村）

管内	実施数	管内	実施数	管内	実施数
空知	4市町	石狩	—	後志	6市町村
胆振	2市町	日高	1町	渡島	4市町
檜山	2町	上川	3市町	留萌	—
宗谷	—	オホーツク	2市町	十勝	2町
釧路	—	根室	2町		

● 雨竜町（11月26日）

実施校：雨竜町立雨竜中学校（生徒数77名）

スケジュール	
時間	内容
10:30～11:20	打合せ等
11:20～12:00	ミニ講座
13:30～15:30	ワークショップ（除架、ディスプレイ）

雨竜中学校は、平成26年度から雨竜小学校（児童数120名）との併置校となる予定であり、小学校が中学校に移転してきます。移転に向け、中学校の学校図書館では、低書架を増設し、複本や古い全集を除架するなどの準備をしていましたが、さらに準備を進めるため、本事業を行いました。

午前中のミニ講座では、小・中学校の図書館担当の先生や町教委の担当者に改善のポイントなどを説明しました。

午後からは、午前中のメンバーにボランティアが加わった10名で、1～2人ずつ担当をする棚を決め、出版年や内容を見ながら、除架を進めました。

除架は、古い本を減らし、新しい本を際立たせるだけでなく、本が少ない分野を知ることができるため、図書購入の計画づくりにも役立ちます。

除架により空いたスペースには、表紙を見せて本を並べ、生徒の興味を引くようにディスプレイをしました。



改善前



改善後

- 羅臼町（12月2日）
実施校：羅臼町立羅臼中学校（生徒数：80名）

スケジュール	
時間	内容
10:00～12:00	打合せ、ワークショップの準備等
13:00～14:20	ワークショップ1 ピフォーアフターミニ版
14:20～14:45	全校集会の中で全校生徒向けミニ講座
14:45～15:45	ワークショップ2 除架、ディスプレイ、POP作り

午前中の打合せでは、教頭先生や図書館担当の先生と、除架・除籍の対象とする本等について相談し、古い辞書や事典を中心に除架作業を開始しました。蔵書の半分以上を占め、図書館のあちらこちらに分散していた文学については、公民館図書室の司書2名が担当し、ジャンルや著者名ごとに整理することにしました。そのほかの分野では、日本十進分類法(NDC)による分類がなされていない図書が多数あったため、分類ごとに本を並べ替える作業も行いました。

午後のワークショップ1には、他の図書館担当の先生も加わり、「このシリーズはもう使えないですね」「この古い美術全集は、美術室に飾りましょう」などと、相談しながら除架を進めました。除架が進み、本が分類ごとに並んでいくと、足りない分野が目瞭然になり、残りの図書費の使い道が見えてきました。

ミニ講座は、全校集会の中で、パワーポイントを使って行いました。学校図書館の使い方や役割について、古い本を抜いて、空いたスペースにどんどん表紙を見せて並べたり、テーマごとの展示コーナーを作るといった事例を紹介しながら説明しました。



全校集会の後の委員会活動の時間では、1～3年生の14人の図書委員が、学校図書館を楽しく使いやすくするための展示コーナーづくりに挑戦しました。

おすすめ本のPOP作りでは、どの本を紹介しようか、どうディスプレイをしようかと知恵を絞り、楽しい雰囲気での展示コーナーができました。



また、他の生徒たちも学校図書館をのぞきに来るなど、リニューアルする学校図書館に、みな期待しているようでした。

できあがった展示コーナー



リニューアルが完成した書架

事業の当日だけでは学校図書館のリニューアルを完了しませんが、翌日、公民館図書室の司書が学校に行き、全ての棚のリニューアルを終えました。

4 学校図書館サポートボックス（11 市町村）

セット名	実施市町村
朝読・昼読セット	喜茂別町・赤井川村・厚真町・美深町・中富良野町・小平町
理科読セット	倶知安町・福島町・富良野市・小平町・弟子屈町・斜里町

学校の朝読や昼読、調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出すもので、学校図書館や学級文庫などで利用していただけます。

貸出期間は約半年（前期：5月～10月、後期：10月～3月）ですから、長期休業中の貸出し、複数の学校での巡回をさせるなど、いろいろな使い方ができます。

現在、次の3種類があり、それぞれ3セットです。

セット	内容	1セットの冊数（各3セット）
(1)理科読セット	・ 理科系の絵本や読みもの ・ 小学校向き	約230冊
(2)朝読・昼読ボックス	・ 幅広い分野 ・ 小学校向き	低・中・高学年それぞれ約50冊で約150冊（一部の図書は、重複しています。）
(3)体力向上・スポーツボックス	・ 健康、スポーツなど、体づくり役に役立つ本 ・ 小・中学校向き	約170冊

申込み方法等については、「平成 26 年度市町村活動支援事業のご案内」に記載しています。

5 子どもイベントサポートボックス（31 市町村）

種類	貸出数等	種類	貸出数等
しかけ絵本	18市町村(1,041冊)	おはなし迷路	8町(27点)
大型絵本	10市町村(66冊)	布絵本・おはなしの小部屋	4町(5点)
エプロンシアター	5町(8点)	紙芝居・大型紙芝居	6町村(23点)
パネルシアター	4町(4点)	調べ学習セット	2町(19点)

● 興部町（「調べ学習支援セット」の利用）

11月に汐留小学校で行われたブックトークで、このセットの紙芝居を活用しました。

5・6年生の授業で、興部町立図書館では、「ポプラディア」2セットを用意し、紙芝居「百科事典の引きかた」を使って、説明しました。

32名の児童は、国語辞典の引き方はすでに知っていましたが、紙芝居で「つめ」や「はしら」などの名称を学んだり、実際に百科事典に触れて調べる練習をし、楽しく学ぶことができました。



紙芝居の上演（あいすパラダイス）

また1月には、紋別市立オホーツク青年の家で、紋別地区子ども宿泊研修「あいすパラダイス」（紋別地区社会教育推進協議会事業）が行われ、興部町立図書館が再びこのセットの紙芝居を利用しました。紋別地区の小学生29人に図書館の使い方やマナーを学んでもらったり、百科事典を使ったクイズを行いました。

● 平成 26 年度市町村活動支援事業について

事業区分		事業名	実施市町村数
I	図書館活動支援	1 運営相談事業	20 市町村
		2 重点運営支援事業	2 市町村
		3 図書館行事支援事業	
		(1) 事業企画支援	5 市町村
		(2) 出前講座(文学館連携事業)	3 市町村
		4 支援貸出し事業	
		(1) 大量一括貸出し	40 市町村程度
		(2) 事業貸出し	随時受付
II	学校支援	5 学校図書館運営相談事業	14 市町村
		6 学校ブックフェスティバル事業	14 市町村
		7 学校図書館サポートブックス事業	18 市町村
III	管内図書館 振興団体支援	8 相互協力促進事業	14 地域

平成 26 年度は、次の点を改善しました。

- 1 事業内容をわかりやすくするため、事業区分をⅠ「図書館活動支援」、Ⅱ「学校支援」、Ⅲ「管内図書館振興団体支援」の3つに変更し、事業名も変更しました。
- 2 事業区分Ⅰ「図書館活動支援」において、1年間を通じて支援する「重点運営支援事業」を2市町村で実施します(平成25年度は「図書館活動重点サポート」として、福島町で実施)。
- 3 平成25年度の「子ども読書活動支援は」、事業区分Ⅱ「学校支援」として拡充します。このうち「学校図書館運営相談事業」は、これまでの「学校図書館環境改善事業」を補完できるような内容です。
- 4 事業区分Ⅲ「管内図書館振興団体支援」は、今年度まで2か年で道内を一巡するよう、当館で巡回する管内を7管内ずつ決めて実施していましたが、最大14地域で実施します。各管内の図書館振興協議会の研修会を始め、管内の社会教育主事会やブロック別の研修会など様々な機会を活用できます。

「平成 26 年度市町村活動支援事業のご案内」は、各教育局を通じ、市町村教育委員会に通知しています。また、当館ホームページ内「図書館ポータル」の次の場所に掲載しています。

【掲載場所】

図書館ポータル → 情報共有ファイル → ファイル一覧 → 道立からのお知らせ → 平成 26 年度北海道立図書館市町村活動支援事業

あけぼのつうしん No. 47

発行日 平成26年3月14日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063(総務企画部)

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>